



瓊浦高等学校  
学校通信  
第 16 号

平成25年12月20日発行  
電話 095-826-1261  
FAX 095-820-5245

## 瓊浦の窓

### 集中力を高める

教頭 岡島 正己

剣道の勝負は一瞬にして決まります。その一瞬をものにするために、日々、稽古に励み、努力します。勝負においては、緊張感をいかに保ち続け集中力を発揮できるか、レベルが高くなればなるほどそれが大切になってくるものです。

大学の後輩に、先日の全日本剣道選手権大会で3回目の優勝を飾った内村良平という選手（警視庁）がいます。私は彼ほど妥協することなく稽古に取り組む選手を見たことがありません。決しておごらず謙虚であり、地道に努力する姿には頭が下がります。そんな彼を見て思ったことがあります。それは、栄光を勝ち取るために必要なことは「緊張感」と「集中力」ではないかということです。

先日、何年ぶりかに母校に稽古に行きました。本来、隅々まで掃除がなされ緊張感が走るべき神聖な道場が、残念ながらトレーニングジムのような様相でした。しかも、学生は社会人の基本ともいうべき挨拶も出来ません。彼らは高校生時代に全国大会で活躍した選手たちですが、試合には勝てないだろうと思いました。案の定、全日本学生選手権は2回戦で敗退しました。

ものごとを成すためには、訓練から始まると考えています。徹底して訓練をし、繰り返すことで基本的な土台が築かれます。さらに足りないものを考え、再び訓練を行う。この気の遠くなるような繰り返しにより才能は徐々に開花します。さらに開花した才能をここぞというときに発揮するためには、緊張感と集中力が大切だと考えます。

適度な緊張感と集中力を高めるために必要なことがあります。

まずは、「環境作り」です。教室に塵一つ落ちていない、黒板が綺麗に消されている、体操服等の私物の整理整頓がなされている、そういった適切な環境を維持し続けることで怠惰な感情が起らず、学業に集中することができます。

次に普段の「心がけ」です。時間に遅れない、授業準備を怠らない、健康に留意しておく、細かいことですが、授業や集会時に退席しないようトイレを済ましておくなど、仲間に迷惑をかけてはならないという緊張感を持つことができます。

最後に何事にも意味を見つけることです。学業は知識を増やし、未来への可能性を広げるため。部活動においては努力の大切さ、仲間の素晴らしさを知るため。面倒と思う集会は、人の貴重な経験や社会の大切なルールを知るためというように、何事に

も意味を見つけることで、1分1秒を無駄にすることなく、緊張感と集中力をもって過ごすことができます。

本校の授業や集会等においては、残念ながら、ごくごく一部の人のために緊張感がなくなってしまうことがあります。是非とも全員が緊張感をもち、集中して授業や集会に臨んでほしいと思います。その経験はきっと将来のここ一番のときに生徒諸君の才能を輝かせてくれるでしょう。そのためにも本校では、今後も学習指導・部活動等は勿論、挨拶や頭髪・容儀指導等の躰教育にも積極的に取り組んでいきたい思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

それでは、よいお年をお迎え下さい。

### 教務部より

2学期の期末考査が終わり、テストの結果はすでに見られたことと思います。その時、お子さんにはどのような声をかけていただけたでしょうか。「よく頑張ったね!」「成績が上がって良かったね!」「今回はうまくいかなくても、次はきっと大丈夫!」、この保護者の皆様の「魔法の言葉」で3学期の学年末考査に対してさらに意欲的に取り組めるようにしていただきたいと思います。

平成25年もあと残すところ10日あまりです。今年目標はどれくらい達成できたでしょうか。平成26年が飛躍の年になるように大志を抱き、実現することを願っています。

### 進学指導部より

いよいよ来月18日、19日には大学入試センター試験が行われます。本校からも普通科3年A組の24名が試験に臨みます。冬休み期間中も補習が詰まっております。生徒たちにとっては気の抜けないお正月となることと思われます。

2年生にとっては1年後、1年生にとっても2年後が勝負のセンター試験となります。今のうちから早めの学習、準備を進めてもらいたいものです。

また、推薦入試の可否も続々と発表されています。そちらにつきましては、また別の機会に一覧表等で紹介できればと思います。

### 冬休みのお知らせ

長かった2学期も終わり、いよいよ今年度も3学期を残すのみとなりました。冬休みの期間を利用して、今年度の反省をしっかりと振り返りとして欲しいと思います。

3学期の始業式は1月8日(水)となります。同日には実力考査も行われます。試験範囲となる課題を生徒たちに渡していますので、冬休み中にしっかりと勉強するようにご指導をよろしくお願い致します。

また、午後には容儀指導も行われる予定です。冬休み中に気を抜いて生活が乱れることがないように、ご家庭での指導をよろしくお願い致します。

## 《主な行事》 1月

8日(月)	始業式 第3回実力考査 ①②
14日(火)	進路適性検査 ①
15日(水)	推薦入試
18日(土)	大学入試センター試験(～19日)
19日(日)	情報処理検定
21日(火)	一次入試
23日(木)	就職模擬試験 ②
24日(金)	卒業考査(～29日)
25日(土)	対外実力試験 ①②
30日(木)	課題研究発表会(機)
31日(金)	機械科標準テスト(機②) 漢字検定



## 【球技大会】

10月、11月と雨のため順延となっていた球技大会。12月18日に行われる予定でしたが、またしても雨のため、中止となってしまいました。3年生にとっては、卒業前の最後の行事ということもあり、どうしても行いたいという生徒からの強い要望もあり、午後の2時間だけではありましたが、体育館を使用して3年生だけの球技大会が実施されました。生徒たちはそれぞれの競技で、もうすぐ離れ離れになる仲間たちとの思い出づくりをしよ

うと精一杯楽しんでいる様子でした。1,2年生にとっては、残念な結果になってしまいましたが、3学期には凧あげ大会や強歩大会といった大きな行事がまだまだ控えています。気持ちを切り替えて、次の機会に臨んでもらいたいと思います。



## 【情報ビジネス科 インターンシップ】

12月10日から13日までの4日間、情報ビジネス科2年A組の生徒37名が、長崎近郊の企業でインターンシップを行いました。今年は1人1社、受け入れ企業も生徒自身が電話で交渉するという、新しい試みを始めました。それぞれの職場で、厳しく指導を受けつつも、学校では見せない表情で仕事に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。

Mr. Max に実習に赴いた中村さんは、「接客業には笑顔と元気のよさが大切だということを改めて実感しました。この実習を今後に生かしていきたい」と感想を語ってくれました。

研修を終えた生徒たちの表情や挨拶には変化が見られ、実社会での生きた経験の必要性が感じられました。ぜひ、それぞれの体験を今後につなげてもらいたいと思います。



## 【機械科 工場見学】

機械科2年生が12月10日に、工場見学を行いました。まず全員で三菱重工業香焼工場を見学した後、大島造船所、ソニーセミコンダクタ、ANAコンポーネントテクニクス、三菱電機長崎製作所、協和機電工業の中から、それぞれの希望した工場へ見学に向かいました。実際の工場を見学した生徒からは、「今まで見たことのない装置や材料などがあって、とても興味深かった」などの感想が寄せられました。

生徒たちは、普段なかなか見ることのできない工場の姿、そして仕事の内容に大いに興味を持ったようでした。こうした経験が、今後の進路選択に役立つものと期待しています。

## 【部活動成績】

### ○ バレーボール部

長崎県バレーボール協会長杯  
長崎県高等学校バレーボール選手権  
第3位

### ○ 写真部

長崎県高等学校総合文化祭  
県高校写真展

最優秀賞

林 優輔 (普1C) 「酔いつぶれ」  
平成26年度

茨城総文祭に出展決定!!

優良賞

柳迫 等隆 (普2D) 「光道」  
優秀賞 (第一席)

山口 皓太 (普3B) 「直視」

## 【人権教育】

12月5日に人権学習が行われました。1学年は女性や子ども、高齢者などの人権問題、2学年はインターネットによる人権問題、3学年は同和問題や外国人の人権問題について学習しました。

それぞれのテーマで講師の先生をお招きし、生徒たちは貴重なお話を聞くことができました。また、その後教室でプリント学習を行い、生徒一人ひとりが人権問題について考える時間となりました。普段の何気ない言動が、人権侵害に繋がる場合もあるということを改めて実感できた時間だったのではないかと思います。こうした学習をきっかけとして、人権尊重の精神を育み、様々な人権課題の解決に積極的に取り組んでいこうとする心を身につけてもらいたいと思います。



## 【進路ガイダンス】

12月10日の6,7校時を利用して、1年生の進路ガイダンスが行われました。事前に、自分が興味のある職業を選び、その中から2つの職業についての説明を受けました。様々な大学や専門学校の先生方をお招きし、生徒は直接話を聞いたり、体験をしたりなど、本を読むだけでは分からないようなことを知る時間を過ごすことができました。どのグループでも積極的に話を聞いたり活動したりする様子が見られ、参加した生徒からは、「ぜひ、またこのような機会をつくってほしい。」という声が多く聞かれました。今までは、ただ漠然と思い描いていた将来の職業について、具体的にどのような未来を想像していればいいのか、ということ、真剣に考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



## 【献血】

本校では毎年、12月に献血を実施しています。今年は、11日から13日の3日間で、3年生、職員合わせて118名の協力を得ました。今回、初めて献血する人も多かったようですが、一人ひとりの善意が誰かのために役立つという、貴重な機会だったのではないのでしょうか。ご存知のように、今回採取された血液も、輸血を必要としている方々のために大切に使われます。これも素晴らしい社会貢献になったことでしょう。ご協力ありがとうございました。